

平成19年 9月 定例会（第286回）

09月25日-02号

◆ 三十一番（今井光子）

最後に、ヤマトハイミールの中小企業高度化貸付資金等について質問いたします。

都道府県が融資する同和枠による中小企業高度化資金のうち半年以上返済が滞る不良債権が、二十一府県で二百八十億円、貸付残高の七二％に当たります。延滞分のうち二十五億円が破綻先債権に分類され、回収困難と見られています。奈良県では貸付残高四十一億一千万円、延滞残高十三億五千万円、破綻先債権が四千万円になっています。これ以上の破綻債権は許されません。七月五日、奈良県が二十億円の中小企業高度化資金を貸し付けたヤマトハイミール食品協業組合が事実上倒産いたしました。日本共産党と住民団体は直ちに県に対し、県民に損失を与えないよう、きちんと回収すべきであると申入れを行いました。九月議会の報告案件にヤマトハイミールの貸付連帯保証人に対する詐害行為取消等請求事件が提出されています。住民訴訟判決の三日前に名義変更したことは連帯責任を免れる行為で、認められるものではなく、県が行ったことは当然です。

奈良県中小企業高度化資金等貸付規則によれば、九条、連帯保証人は貸付金にかかる債務を保証する十分な資産を有し、知事が適当と認めるものであること。さらに、借主はその連帯保証人が死亡し、住所不明になり、いずれかの要件を欠くときは遅滞なく知事にその旨を届け出て、新たに要件を備えた連帯保証人を立てなければならない。さらに十一条、損害保険金は、当該貸付にかかる貸付金相当額以上の損害保険金を付さなければならないとしています。規則どおりにしてこなかった県の責任は重大です。規則に従って実施されていれば、県民に損失を与えることはないと思いますが、今後の回収をどのように進めていくのか、お聞かせください。

この問題につきましては平成十三年から日本共産党は取り上げ、そもそも貸付け当時から貸付条件を満たしていたのか、未登記のまま資金の貸付けが行われたことなど、事実を挙げながら、県に改善を求めてまいりました。また、県民と力を合わせて全国で初めて、県は回収の努力を怠ったとする住民訴訟も行き、県の責任を認める判決が下されました。県は、何も問題はないと繰り返してきました。しかし、全国的に同和向け中小企業高度化資金のずさんな管理や行政の甘い対応が問題になってきた中で、再度、問題がなかったのか、監査を行うことが必要です。知事の特別監査権を使って、全容を明らかにすべきと考えますが、いかがでしょうか。

また、農林部長に伺いますが、これまで県は、高度化資金貸付けの目的は公害対策と食肉センターの残渣処理にあると言われてきましたが、組合が実質的に倒産した現在、食肉

センターの残渣処理はどのようになっているのか、お伺いをいたします。

以上で第一問を終わります。答弁によりましては自席から再質問させていただきます。どうもありがとうございました。

◎ 知事（荒井正吾）

最後でございますが、ヤマトハイミールの中小企業高度化資金貸付についてでございます。今後の対応の方向についてのご質問がございました。

県といたしましては、七月五日の銀行取引停止処分を受けて、中小企業基盤整備機構と協議し、債権回収の進めを進めておるところでございます。組合に対して債務の一括繰上償還請求を七月二十四日に行いまして、さらに、担保物件であります工場敷地、工場建物、機械設備について、奈良地方裁判所に担保不動産競売申立を九月十九日に行ったところでございます。一方、連帯保証人に対しても詐害行為取消請求訴訟の提訴を八月二十四日に行い、保証債務の履行請求を八月三十日に行っております。今後これらの手続を着実に実行し、債権の回収に努めてまいりたいと考えております。

同組合に対する中小企業高度化資金貸付については、県と当時の中小企業事業団が共同して組合の事業計画などについて検討した上、貸し付けたものと考えております。また、債権管理については、業界の構造改善と悪臭公害の解消という公益的な目的を勘案しながら適切に行ってきたものと考えております。しかし、今般、組合の事業継続が困難になり、担保権実行による債権回収を行わざるを得ない状況に至ったことは遺憾だと考えているところでございます。今後は債権回収に全力で努めていくこととしており、監査を要求することは考えておりませんが、今後さらに具体的な問題が確認されることがあれば、その時点で適切な対応を考えていきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

◆ 三十一番（今井光子）

それから、ヤマトハイミールの点ですが、債権回収の見通しが本当にあるのかどうか、県民に損失を与えないような形で回収ができる見通しがあるのかどうか、そのあたりについて知事のお考えをお聞かせいただきたいというふうに思います。

◎ 知事（荒井正吾）

ヤマトハイミールの債権回収の見込みということでございますが、今は、私のまだ見込みを持っておる状況ではございません。手続に従って、できるだけ回収に努めていきたいというふうに思っておるところでございます。

以上、お答え申し上げます。